



平成21年4月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年12月15日

上場会社名 株式会社メガネスーパー
 コード番号 3318 URL <http://www.meganesuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 由子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 齋藤 正和
 四半期報告書提出予定日 平成20年12月15日

上場取引所 JQ

TEL 0465-24-3611

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第2四半期の業績(平成20年5月1日～平成20年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第2四半期	15,667	△4.5	△347	—	△398	—	△2,849	—
20年4月期第2四半期	16,409	△7.2	287	△81.0	228	△84.9	78	△88.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第2四半期	△208.16	—
20年4月期第2四半期	5.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年4月期第2四半期	30,580	6,346	20.8	463.66
20年4月期	31,756	9,380	29.5	685.30

(参考) 自己資本 21年4月期第2四半期 6,350百万円 20年4月期 9,380百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年4月期	—	12.50	—	12.50	25.00
21年4月期	—	0.00	—	—	—
21年4月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,270	△6.7	70	—	△80	—	△2,510	—	△183.37

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年4月期第2四半期	13,790,880株	20年4月期	13,790,880株
② 期末自己株式数	21年4月期第2四半期	102,659株	20年4月期	102,499株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年4月期第2四半期	13,688,307株	20年4月期第2四半期	13,787,410株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期財務諸表に関する会計基準について)

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(参考) 連結業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第2四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第2四半期	16,324	△8.7	△368	—	△441	—	△2,757	—
20年4月期第2四半期	17,872	△8.6	166	△89.5	66	△95.6	△249	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年4月期第2四半期	△201	43	—	—
20年4月期第2四半期	△18	13	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年4月期第2四半期	30,580		6,346		20.8		463 66	
20年4月期	33,601		9,288		27.6		678 58	

(参考) 自己資本 21年4月期第2四半期 6,350百万円 20年4月期 9,288百万円

2. 平成21年4月期の業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,900	△12.4	50	—	△120	—	△2,420	—	△176	53

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、世界経済の減速による先行き不安の中、原油等の資源価格の高騰による個人消費の低迷や企業経営の環境が悪化するなど、景気後退の懸念が強まっております。

眼鏡等小売業界におきましては、依然として価格表示が均一な低価格専門店の増加による低価格化の進行や、一層激しくなった競合企業間の価格競争による影響で眼鏡等小売市場の縮小に拍車をかけ、非常に厳しい状況が続いております。

このような経済環境及び経営環境のもと当社におきましては、早期のV字回復を実現するため全社員一丸となって活発な営業活動を行っております。

当第2四半期累計期間には、Web通販の強化、Webチラシの導入やセールチラシの表現の見直し等を行い、当社の認知度アップを図りました。

商品施策におきましては、フレーム、レンズにおいて更にお求め易い商品とアイテム数を増加投入しました。また、コンタクトレンズ及び補聴器においても特別企画商品を打ち出し販売強化に努めました。

しかしながら、客数は前事業年度と比べ微増しましたが、低価格化の進行等の影響により販売単価はダウンいたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は15,667百万円、営業損失は347百万円、経常損失は398百万円、四半期純損失は2,849百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて900百万円減少し、8,020百万円となりました。これは、現金及び預金が448百万円減少したこと、また、商品が154百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて295百万円減少し、22,480百万円となりました。これは、無形固定資産が70百万円増加しましたが、有形固定資産が230百万円減少したこと、また、投資その他の資産が135百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,175百万円減少し、30,580百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて2,286百万円増加し、11,643百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が515百万円減少しましたが、短期借入金が1,941百万円増加したこと、また、その他流動負債が695百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて428百万円減少し、12,590百万円となりました。これは、社債が416百万円、長期借入金が334百万円増加しましたが、長期預り保証金が1,104百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて1,858百万円増加し、24,234百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて3,034百万円減少し、6,346百万円となりました。これは、第2四半期純損失2,849百万円の計上及び配当金の支払により利益剰余金が3,020百万円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ592百万円減少し、当第2四半期会計期間末には、1,869百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,019百万円となりました。これは、仕入債務の減少及びその他の流動負債の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、483百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出並びに敷金及び保証金の差入による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、910百万円となりました。これは、短期借入れによる収入等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年4月期の通期業績予想につきましては、引き続き眼鏡等小売各社の競争激化、価格表示が均一な低価格専門業態の台頭から、一式販売単価の下落が続いており、急激に眼鏡等小売市場が縮小しており、眼鏡等小売市場を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況となっております。

当社におきましては、競合他社との差別化打ち出すべく施策や更なる新規顧客の獲得に向け営業力強化に努め、売上高及び利益の確保に注力して参ります。なお、平成20年9月12日発表の通期の業績予想の変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

当事業年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、同会計基準の適用にあたっては、期首在庫の評価から適用したとみなし、期首在庫に含まれる変更差額を特別損失に計上する方法によっており、当第2四半期会計期間末における収益性の低下による簿価切下額を売上原価に計上しております。

これにより営業損失及び経常損失は、それぞれ10,996千円増加し、税引前四半期純損失が47,353千円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：千円)	
	当第2四半期会計期間末 (平成20年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,869,933	2,318,703
売掛金	749,531	876,521
商品	4,429,397	4,584,016
原材料	908	974
貯蔵品	31,894	64,142
その他	941,291	1,077,470
貸倒引当金	△2,201	△616
流動資産合計	8,020,754	8,921,212
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,589,115	6,529,326
その他(純額)	4,676,892	4,967,377
有形固定資産合計	11,266,008	11,496,704
無形固定資産		
投資その他の資産	260,419	189,854
敷金及び保証金	10,173,409	10,251,733
その他	812,173	928,715
貸倒引当金	△31,943	△91,516
投資その他の資産合計	10,953,639	11,088,932
固定資産合計	22,480,066	22,775,491
繰延資産		
社債発行費	80,036	60,104
繰延資産合計	80,036	60,104
資産合計	30,580,857	31,756,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,927,278	4,443,051
短期借入金	3,218,920	1,277,306
未払法人税等	165,134	-
その他	4,331,904	3,636,515
流動負債合計	11,643,237	9,356,873
固定負債		
社債	4,541,900	4,125,500
長期借入金	3,823,444	3,488,749
退職給付引当金	1,189,903	1,159,281
長期預り保証金	2,647,907	3,752,757
その他	387,803	492,955
固定負債合計	12,590,958	13,019,243

(単位：千円)

	(単位：千円)	
	当第2四半期会計期間末 (平成20年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債合計	24,234,196	22,376,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,532,360	1,532,360
資本剰余金	1,467,880	1,467,880
利益剰余金	3,416,730	6,437,201
自己株式	△66,764	△66,672
株主資本合計	6,350,205	9,370,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,544	9,922
評価・換算差額等合計	△3,544	9,922
純資産合計	6,346,660	9,380,691
負債純資産合計	30,580,857	31,756,808

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
売上高	15,667,361
売上原価	5,063,134
売上総利益	10,604,227
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	2,990,318
地代家賃	3,035,779
その他	4,925,592
販売費及び一般管理費合計	10,951,690
営業損失(△)	△347,463
営業外収益	
受取利息	9,164
受取配当金	580
その他	59,786
営業外収益合計	69,531
営業外費用	
支払利息	85,414
その他	35,124
営業外費用合計	120,539
経常損失(△)	△398,471
特別利益	
固定資産売却益	13,905
受取補償金	49,057
会員権買取益	17,850
その他	15,323
特別利益合計	96,136
特別損失	
固定資産除却損	50,383
店舗構造改革費用	1,530,822
店舗閉鎖損失	46,985
たな卸資産評価損	36,356
過年度人件費	99,999
抱合せ株式消滅差損	563,411
その他	21,770
特別損失合計	2,349,729
税引前四半期純損失(△)	△2,652,064
法人税、住民税及び事業税	71,018
法人税等調整額	126,284
法人税等合計	197,302
四半期純損失(△)	△2,849,366

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△2,652,064
減価償却費	347,914
長期前払費用償却額	38,440
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,846
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,987
受取利息及び受取配当金	△9,744
支払利息	85,414
社債発行費償却	6,991
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△5,900
固定資産売却損益(△は益)	△13,905
会員権買取益	△17,850
固定資産除却損	50,383
店舗構造改革費用	1,530,822
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	563,411
店舗閉鎖損失	46,985
過年度人件費	99,999
売上債権の増減額(△は増加)	190,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	399,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△648,298
その他の流動資産の増減額(△は増加)	38,261
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,403,872
その他	143,244
小計	△1,195,427
利息及び配当金の受取額	11,428
利息の支払額	△79,375
法人税等の支払額	△38,205
法人税等の還付額	287,297
その他	△4,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△327,770
有形固定資産の売却による収入	51,400
無形固定資産の取得による支出	△1,591
敷金及び保証金の差入による支出	△209,438
敷金及び保証金の回収による収入	96,257
長期前払費用の取得による支出	△15,186
営業譲受による支出	△98,266
その他	21,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483,457

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△697,579
社債の発行による収入	490,210
社債の償還による支出	△509,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,451
配当金の支払額	△170,741
その他	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	910,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△592,293
現金及び現金同等物の期首残高	2,318,703
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	143,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,869,933

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社は、前事業年度において営業損失347,171千円、経常損失428,301千円、当期純損失2,605,287千円を計上し、当第2四半期累計期間におきましても、営業損失347,463千円、経常損失398,471千円、四半期純損失2,849,366千円を計上、また、営業キャッシュ・フローにおいても前事業年度に引き続き当第2四半期累計期間1,019,181千円のマイナスとなっております。加えて、当社が締結しているシンジケート・ローン契約(第2四半期会計期間末残高950,000千円)の財務制限条項に抵触、期限の利益喪失事由に該当しているものがあります。

以上から、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。

しかしながら、当社は、前事業年度より続く眼鏡小売業界における市場の大幅な縮小に耐え得る財務体質強化を目指し、当事業年度に145店舗の閉鎖を主軸とした「再建計画」を粛々と実行、順調に計画どおりの成果が現れております。

また、第2四半期会計期間末において財務制限条項に抵触し期限の利益喪失事由に該当した契約については、金融機関より当該条項の適用に猶予を頂いていること及び今後の資金調達に関しても金融機関等より継続的支援の理解を得ており、「再建計画」の達成により財務体質の改善と経営体質のスリム化が図られ継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象を解消できるものと判断しております。

従いまして、四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映しておりません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考」

被合併会社である株式会社ハッチ(連結子会社)と平成20年10月31日で連結した場合の四半期連結損益計算書及び前年同四半期連結損益計算書は以下のとおりです。

(1) 当第2四半期連結損益計算書

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)
区分	金額(千円)
売上高	16,324,854
売上原価	5,239,507
売上総利益	11,085,347
販売費及び一般管理費	11,453,920
営業損失(△)	△368,573
営業外収益	
受取利息	9,240
受取配当金	580
集中加工室管理収入	12,924
その他	38,039
営業外収益合計	60,785
営業外費用	
支払利息	95,543
その他	38,176
営業外費用合計	133,720
経常損失(△)	△441,508
特別利益	
固定資産売却益	13,905
受取補償金	86,057
その他	33,173
特別利益合計	133,136
特別損失	
固定資産除却損	56,061
店舗構造改革費用	1,988,310
店舗閉鎖損失	47,224
たな卸資産評価損	36,356
過年度人件費	99,999
その他	21,770
特別損失合計	2,249,724
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,558,096
法人税、住民税及び事業税	72,905
法人税等調整額	126,284
法人税等合計	199,189
四半期純損失(△)	△2,757,285

(2) 前年第2四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期連結累計期間 (自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日)
	金額(千円)
売上高	17,872,176
売上原価	5,282,757
売上総利益	12,589,419
販売費及び一般管理費	12,422,994
営業利益	166,425
営業外収益	
受取利息	9,594
受取配当金	4,478
受取家賃	1,957
集中加工室管理収入	17,150
協賛金収入	11,326
保険金収入	957
その他	16,556
営業外収益合計	62,021
営業外費用	
支払利息	87,039
社債発行費償却額	9,758
シンジケートローン手数料	34,782
その他	30,010
営業外費用合計	161,590
経常利益	66,856
特別利益	
会員権買取益	34,200
投資有価証券売却益	24,000
営業補償料	15,000
特別利益合計	73,200
特別損失	
固定資産除却損	117,755
店舗閉鎖損失	96,538
その他	170
特別損失合計	214,464
税金等調整前四半期純損失(△)	△74,407
法人税、住民税及び事業税	56,415
法人税等調整額	119,116
法人税等合計	175,531
四半期純損失(△)	△249,939